

## P 3 限笹エキスクリームの褥瘡に対する使用 経験について

○北川敦子、真田弘美、須釜淳子(金沢大学医学部保健学科)、河崎美保子(城北病院)、杉山徹、田端恵子(千木病院)、鈴木信孝、大野智、大久保一良(金沢大学補完代替医療学講座)

[目的]褥瘡に対し感染コントロール目的に消毒剤や抗菌剤が選択される。しかし抗菌剤は創内の組織障害を起こし褥瘡治癒が妨げられると報告されている。今回抗菌効果が高く、天然成分であり褥瘡部にも影響が少ない限笹エキスクリーム((株)鳳凰堂)(以下、限笹)を用い褥瘡ケアを行い示唆を得たので報告する。

[方法]炎症期から肉芽形成期の褥瘡 6 例に限笹を使用し、その効果を PSST と褥瘡の肉眼的変化にて評価した。使用にあたっては褥瘡ケアの専門家が適応の可否を判断し、医療スタッフ、患者および家族に研究の趣旨を説明し同意を得て使用した。なお PSST は褥瘡状態判定スケールであり、点数が高いほど褥瘡の状態が悪いことを示す。

[成績]対象の概要:平均年齢 72.6 歳、男性 2 名、女性 4 名である。褥瘡の深達度(NPUAP 分類) Stage II =3、III=2、IV=1であり、諸相は炎症期 2、肉芽形成期 2、表皮形成期 2 であった。部位は仙骨部 2、尾骨 1、坐骨 1、踵部 1、背部1であり、限笹平均使用期間は 14.8 日であった。成績:限笹の効果は 6 症例中 4 症例にみられた。Stage III・IVの肉芽形成期の 2 症例で治癒には至らなかったが、PSST 総点が使用前と比べ 2 点減少あるいは不変であった。肉眼的には両例とも肉芽の色調が白から濃いピンクへと変化が見られた。Stage II で炎症期および表皮形成期にある 2 症例では限笹使用后、1~3 週間で治癒に至った。効果があった褥瘡のすべては、便や尿によって常に汚染されていた例であった。なお中止例は 2 症例であり、炎症期の浸出液の多い例では限笹が流れ、効果が見られず使用を中止した例と、使用 4 週間後に創周囲に発疹が見られた症例であった。

[結論] 尿・便などで汚染された創に対して限笹は有効であることが示唆された。ただし本クリームは水分含有量が多いため、浸出液の多い創には適していないこと、長期使用によりアレルギー様の発疹をみたことにより、使用時には観察が必要である。